



永森 咲希

Saki Nagamori

一般社団法人MoLive（モリーヴ）代表
オフィス永森 代表

主な資格

- ・キャリアコンサルタント（国家資格）
- ・不妊カウンセラー
- ・家族相談士
- ・産業カウンセラー
- ・ドリームマップファシリテーター

所属

- ・日本産業カウンセラー協会
- ・日本不妊カウンセリング学会
- ・日本生殖心理学会
- ・日本家族カウンセリング協会

著書

- ・『三色のキャラメル ～不妊と向き合ったからこそわかったこと～』 文芸社

メディア掲載

NHK / 日本経済新聞 / 朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 産経新聞 / 東京新聞 / 女性誌等多数

これまでの経緯

大学卒業後、米国半導体企業の営業部門に入社。その後総合商社の経験を経て、外資系コンサルティングファーム、米系飲料メーカー、米・独系カーメーカーの経営部門を経験。不妊治療中に退職。6年間の不妊治療を経験し最終的に子どもをあきらめる。2014年に自身の体験を出版し、同時に一般社団法人MoLive（モリーヴ）を設立。以来当事者へのサポートを続け、2021年に活動のリニューアルを実施。

活動内容と思い

待ち望む新しい命に巡り会えない時、人はどのような状況におかれるでしょう。子どもができない純粋な悲しみの他に、不妊治療の辛さや家族との確執、夫婦関係の変化や周囲との比較、また自身のアイデンティティーへの疑問等々、多岐に亘る複雑で特有な悩みに見舞われがちです。

モリーヴ設立の2014年以来、そんな多くの当事者の声をお聴かせいただく中で、何年経っても悩みの質に変化がなく、法人・教育・医療それぞれの領域に課題があることがわかりました。

仕事と不妊治療の両立の難しさから生じるキャリア形成や職場環境の問題、“妊娠には適した時期がある”という基本的な知識の欠如といった教育の問題、また医療機関の選択の難しさや、不妊治療がやめられず苦悩が長期間続くといったQOLやアイデンティティーの問題等々、当事者の方々の声からは、多種多様な社会課題が突き付けられます。

法人・教育・医療それぞれの領域が連携を取りながらこうした課題に取り組み、三位一体となって当事者を支える体制の醸成を目指し、2021年に法人のリニューアルをいたしました。

子どもを願う方々が、過度なストレスを感じることなく妊活できるように。また、たとえ子どもができなくても、生き活きと自信を持って自分らしい人生を生きられるように。

微力ながらサポートさせていただきます。



MoLive
standing by you